

化学物質等安全データシート (SDS)

製造者情報

会 社 株式会社ペプチド研究所
住 所 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目2番9号
電話番号 072-643-4411 FAX 番号 072-643-4422
作成 2015年4月20日

1. 製品及び会社情報

製品名 : Kisspeptin-54 (Human) / Metastin (Human, 1-54) (製品コード 4446-s)
(会社情報は上記参照)

2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険性、有害性、環境影響 : データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
一般名 : Kisspeptin-54 (Human) / Metastin (Human, 1-54)
別名 : Kp-54 (Human) / *KiSS-1* Gene Product (Human, 68-121 Amide)
構造式 : Gly-Thr-Ser-Leu-Ser-Pro-Pro-Pro-Glu-Ser-
Ser-Gly-Ser-Arg-Gln-Gln-Pro-Gly-Leu-Ser-
Ala-Pro-His-Ser-Arg-Gln-Ile-Pro-Ala-Pro-
Gln-Gly-Ala-Val-Leu-Val-Gln-Arg-Glu-Lys-
Asp-Leu-Pro-Asn-Tyr-Asn-Trp-Asn-Ser-Phe-
Gly-Leu-Arg-Phe-NH₂
化学式、分子量 : C₂₅₈H₄₀₁N₇₉O₇₈ (M.W. 5857.4)
官報公示整理番号
安衛法 : -
化審法 : -
CAS No. : -
EINECS No. : -
TSCA 登録 : なし
国連分類及び国連番号 : 危険物に該当しない。

4. 応急措置

- 目に入った場合 :
 1. 直ちに流水で15分以上洗眼する。
 2. 必要であれば医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 :
 1. 触れた部位を多量の水で洗い流す。
 2. 必要であれば医師の手当てを受ける。

- 吸入した場合：
 1. 空気の新鮮な場所に移し安静にする。
 2. 清浄な水で口内と鼻腔を十分に洗浄し、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合：
 1. 清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：通常の火災時の消火方法に準ずる。

消火剤：制限なし

6. 漏出時の措置

掃き集め、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：直接人体に触れないようにする。

保管：品質保持のためフリーザー保存を推奨、密封、遮光。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

設備対策：特に必要としない。

保護具：防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：白色の不定形粉末

溶解性：水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性：データなし

可燃性：データなし

発火性：データなし

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

感作性：データなし

慢性毒性、長期毒性：データなし

発癌性、催奇形性、生殖毒性：データなし

12. 環境影響情報

移動性：データなし

残留性/分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

生態毒性：データなし

13. 廃棄上の注意

適用される条例、政令等に従う。

14. 輸送上の注意

冷凍輸送が望ましい。

容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

引用・参考文献

1. 「製品安全データシートの作成指針」（一般社団法人 日本化学工業協会）
2. JIS Z 7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（一般財団法人 日本規格協会）
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）のウェブサイト
4. T. Ohtaki, Y. Shintani, S. Honda, H. Matsumoto, A. Hori, K. Kanehashi, Y. Terao, S. Kumano, Y. Takatsu, Y. Masuda, Y. Ishibashi, T. Watanabe, M. Asada, T. Yamada, M. Suenaga, C. Kitada, S. Usuki, T. Kurokawa, H. Onda, O. Nishimura, and M. Fujino, *Nature*, **411**, 613 (2001).
5. A.I. Muir, L. Chamberlain, N.A. Elshourbagy, D. Michalovich, D.J. Moore, A. Calamari, P.G. Szekeres, H.M. Sarau, J.K. Chambers, P. Murdock, K. Steplewski, U. Shabon, J.E. Miller, S.E. Middleton, J.G. Darker, C.G.C. Larminie, S. Wilson, D.J. Bergsma., *J. Biol. Chem.*, **276**, 28969 (2001).
6. M.L. Gottsch, D.K. Clifton, and R.A. Steiner, *Peptides*, **30**, 4 (2009).
7. C.N. Jayasena and W.S. Dhilllo, *Curr. Opin. Investig. Drugs*, **10**, 311 (2009).
8. W.H. Colledge, *Endocrinol. Metab.*, **20**, 115 (2009).
9. E.L. Thompson, K.G. Murphy, M. Patterson, G.A. Bewick, G.W.H. Stamp, A.E. Curtis, J.H. Cooke, P.H. Jethwa, J.F. Todd, M.A. Ghatei, and S.R. Bloom, *Am. J. Physiol. Endocrinol. Metab.*, **291**, 1074 (2006).
10. S. Tovar, M.J. Vázquez, V.M. Navarro, R. Fernández-Fernández, J.M. Castellano, E. Vigo, J. Roa, F.F. Casamueva, E. Aguilar, L. Pinilla, C. Dieguez, and M. Tena-Sempere, *Endocrinology*, **147**, 2696 (2006).
11. W.S. Dhilllo, O.B. Chaudhri, E.L. Thompson, K.G. Murphy, M. Patterson, R. Ramachandran, G.K. Nijher, V. Amber, A. Kokkinos, M. Donaldson, M.A. Ghatei, and S.R. Bloom, *J. Clin. Endocrinol. Metab.*, **92**, 3958 (2007).
12. V. Pheng, Y. Uenoyama, T. Homma, Y. Inamoto, K. Takase, K. Yoshizawa-Kumagaye, S. Isaka, T.X. Watanabe, S. Ohkura, J. Tomikawa, K.-i. Maeda, and H. Tsukamura, *J. Reprod. Dev.*, **55**, 378 (2009).

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に

適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。